

# 小規模企業景気動向調査

[2020年12月期調査]

～新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴い、回復から横ばいへ転じた小規模企業景況～

2021年1月26日  
全国商工会連合会

## ＜調査概要＞

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2020年12月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

## ＜産業全体＞ ◇…新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴い、回復から横ばいへ転じた小規模企業景況…◇

12月期の小規模企業の業況DIは、7か月連続で改善となったが、改善幅は7か月中で最も小さく、ほぼ、横ばいであった。全国的な新型コロナウイルス感染症の感染再拡大を受け、GoToトラベルの一時停止や、地域によっては外出自粛要請が発出された等の影響により、消費の落ち込みが見られ、先行き不透明な状況である。経営指導員からは、これ以上長期化すると、地域全体に疲弊が目立つため、事業の継続が困難な事業者が増加する恐れがあるとの声が多く寄せられた。

## ＜製造業＞ ◇…回復傾向が続くも、今後に不安が残る製造業…◇

製造業は、7か月連続で全DIが改善した。食料品関連は、巣ごもり需要の継続及び年末年始の買いだめ需要により、内食向けが堅調である。一方で、感染再拡大を受け、観光客の減少に伴い、宿泊施設や外食産業へ納品している食料品製造業の売上は、下降に転じている。機械・金属関連は一部では回復傾向にあるが、元請けからの発注が減少しており、稼働率が低下しているとの声が目立った。繊維関連は、依然として、マスクや防護服等の売上は好調であるものの、全体的には生産調整等により厳しい状況が続いており、今後に不安が残る。

## ＜建設業＞ ◇…7か月連続の改善も、懸念材料が残る建設業…◇

建設業は、7か月連続で改善し、学校休業要請の出された2月期の水準に迫るまで回復してきた。公共工事が堅調であることに加え、一部地域では、降雪による除雪需要や災害復旧工事の需要があり、全般的に好調を維持している。また、民需の住宅関連でも、年末大掃除に向けたハウスクリーニングや、リフォーム工事等の受注が好調である。しかし、今後の受注見込みが減少傾向にあることや、資材調達難等により、先行きを懸念するコメントが目立った。

## ＜小売業＞ ◇…小幅な回復が継続するも、業種・事業者間で回復度合いに差がみられる小売業…◇

小売業は、3か月連続で改善したものの、ほぼ横ばいであった。食料品関連は、年末年始の帰省等の自粛の代替として、お歳暮等が好調との声もあり、また、引き続き内食や巣ごもり需要も好調であるものの、例年と比べると厳しい状況にある。衣料品関連は、感染再拡大に伴い、外出を控える傾向が強まり、厳しい状況が続いている。耐久消費材関連は、引き続きウイルス対策関連の商品(空気清浄機、加湿器等)や、買替の時期のため(冷蔵庫、洗濯機等)の売上が好調であるものの、通販や大型店に需要が流れているとの声も寄せられている。

## ＜サービス業＞ ◇…GoToトラベルの停止・忘年会需要の激減等により、悪化に歯止めがかからないサービス業…◇

サービス業は、2か月連続で全DIが悪化となり、特に売上額DIは11ptの悪化となった。宿泊業は、9・10月期がGoToキャンペーン等の効果で大幅な回復となったが、11月からの全国的な感染再拡大に伴い、予約のキャンセルが相次ぎ、業況は再び悪化し、9月期以下の水準に落ち込んでいる。また、飲食業も忘年会需要がすべてなくなったなど悲痛な声が目立った。理美容業の一部で、年末の需要で顧客が戻りつつあるとの声もあるが、サービス業全体としては、感染拡大の収束が見込めないため、今後の業況の更なる悪化を懸念するコメントが多く、予断を許さない状況である。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	11月	12月	前月比	11月	12月	前月比	11月	12月	前月比
売上額	▲ 44.1	▲ 43.6	0.5	▲ 51.0	▲ 47.9	3.1	▲ 29.4	▲ 21.3	8.1
採算	▲ 44.6	▲ 43.2	1.4	▲ 52.2	▲ 46.5	5.7	▲ 34.2	▲ 26.2	8.0
資金繰り	▲ 43.5	▲ 42.6	0.9	▲ 49.6	▲ 45.4	4.2	▲ 31.4	▲ 28.2	3.2
業況	▲ 47.5	▲ 47.2	0.3	▲ 56.2	▲ 51.3	4.9	▲ 33.3	▲ 29.3	4.0

業種	小売業			サービス業		
	11月	12月	前月比	11月	12月	前月比
売上額	▲ 43.8	▲ 42.2	1.6	▲ 52.3	▲ 63.3	▲ 11.0
採算	▲ 43.7	▲ 42.9	0.8	▲ 48.6	▲ 57.3	▲ 8.7
資金繰り	▲ 44.5	▲ 42.3	2.2	▲ 48.3	▲ 54.8	▲ 6.5
業況	▲ 48.4	▲ 48.2	0.2	▲ 52.2	▲ 60.1	▲ 7.9

注) DI (景気動向指数) は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

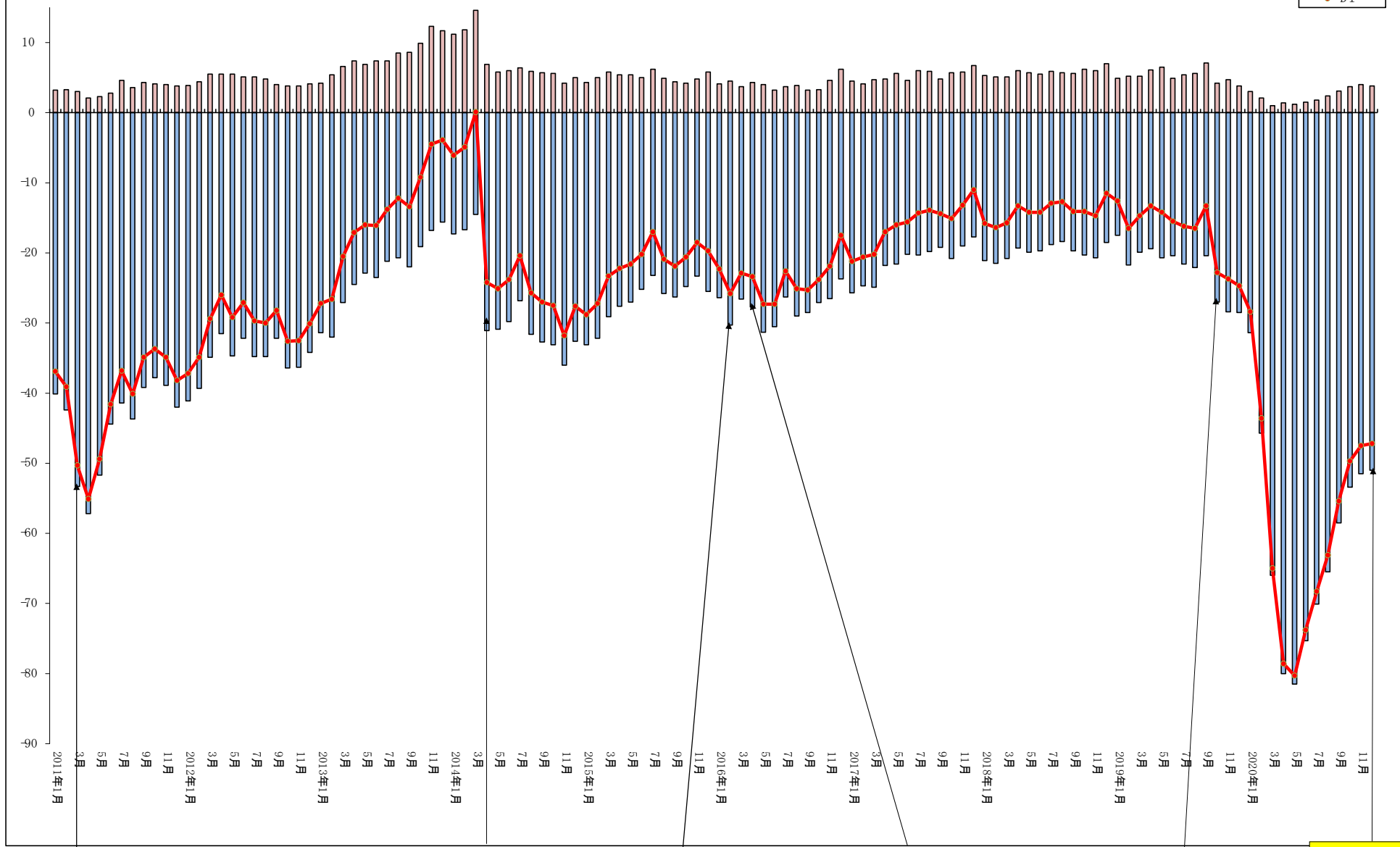
全国商工会連合会 政策推進部 事業環境課

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル北館19F TEL:03-6268-0085 FAX:03-6268-0997 担当:牧

# 小規模企業景気動向調査(月次)

## 産業全体の業況…過去10年のトレンド…

■悪化  
■好転  
●DI



11年3月  
東日本大震災  
(-50.3)

14年4月  
消費税率8%に引上  
げ

16年2月16日  
日銀マイナス金利導入  
(-25.8)

16年4月  
熊本地震(-23.4)

19年10月  
消費税率10%引上げ  
(-22.8)

20年12月  
(-47.2)

## 小規模企業景気動向調査(12月期)における商工会経営指導員の主なコメント

\*コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

### 1. 景気全般

#### <改善傾向を示すコメント>

・コロナ禍で我慢ばかりの消費者が年末年始をいつもより少しでも充実したものにしたいという気持ちの面から、食品製造、食品小売の売上げが増えた。

(城山商工会)

・コロナ感染対策をしっかりとる事で小規模で人数制限ありだが小規模な催事が増えており、木工家具や雑貨などを製造するものづくり事業者も活気がでてきている印象。ECサイト構築やネット販売に移行する傾向にある昨今だが、やはり催事などイベントがあると直に商品を見て頂けるし、事業者の士気も高まる印象がある。

(南風原町商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

・現在アクセルとブレーキではブレーキを強く踏んでいる状況であるが、この状況が長く続くと元々弱っている事業者の体力が持たないのではないかと危惧している。

(中泊町商工会)

・大雪により建設業への好影響があったほかは、新型コロナウイルス感染症の拡大により厳しい状況が続いている。特に、GOTOトラベルが一時停止となった旅館や忘年会の中止が相次ぎダメージを被った食料品小売は、例年よりも大きく売上を落としていることに加え、不透明な状況が続くことからより一層その動向を注視していく必要がある。

(由利本荘市商工会)

・当地域では消費喚起事業を実施したものの、依然としてコロナウイルスによる来客数の減少といった理由から、全体的に地域的な景気の上向きは分かりにくいところがある。地域的にはまだまだ経営において厳しい事業者がおり、給付金などの継続を求める声も上がっている。支援機関として、継続して国や自治体に要望をしていく必要があるのではないかと考える。

(鹿島商工会)

・GOTOが動いていたところは売上・利益とも緊急事態宣言時の70%前後まで売上げを戻せる事業所も多かったが、12月以降影響がもろにでている。借り入れについても年末前後までを予定して借りている事業所が多い為、今後金融事態宣言休業要請が出た際には、借り入れがこれ以上できる事業所も少なく、倒産・廃業に追い込まれる事業所が多々出る可能性がある。

(御代田町商工会)

・コロナ禍が約1年になり、各事業者も必死で食いしばりながら、続けてきたが、これ以上この状況が続くようだと廃業・倒産の事業者がバタバタ出てくるのではないかと危惧している。

(御前崎市商工会)

・GOTO等、コロナウイルス対策関連制度により一時は回復傾向を見せたが、感染再拡大により再び業況が悪化。自粛要請等が長引き資金繰り等は一層悪化傾向となっている。

(伊豆の国市商工会)

・感染者の急激な増加により、厳しい状況の中、一時GoToイートキャンペーンにより回復の兆しにあった飲食店が再度悪化している。長期化する新型コロナウイルス感染症の影響により、事業者に疲弊が見られ、今後も続くようであれば事業の継続が困難な事業者が出てくると考えられる。

(湖南市商工会)

・新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがかからない状況において、先行きが全く読めない状況になりつつある。倒産や廃業が年明け以降、一気に増えそうな予感がする。

(東温市商工会)

・近隣で新型コロナウイルスのクラスターが発生し、Go Toトラベルも年末年始使用できないため帰省客も少なく、不要不急で経済も冷え込んでいる。

(かのや市商工会)

### 2. 製造業

・食料品製造業の一部は、家庭内消費の増加をはじめ、贈答品の増加により売上が伸びている。

(松浦市福鷹商工会)

・食料品製造関連の事業所は、新型コロナウイルス感染症による外食自粛の影響により、食料品小売店の需要が増加、それに伴って当業種も若干ではあるが業況が好転する結果となった。年末年始にかけて更なる需要増加を見込む。

(玖珠町商工会)

・食料品製造業は巣ごもり需要の継続及び年末年始の需要により売上増加している。

(佐土原町商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

・食品製造業は、新型コロナウイルス感染症の影響により、飲食店やホテル関係の需要が減少したことにより納品できず、依然として売上減少が続いている。

(上川町商工会)

機械金属加工業関連の事業者はコロナ禍のため長期の受注が見えない

(鳩ヶ谷商工会)

・食料品製造業は年末のスーパー等の売上が好調なこともあり、堅調な状況。繊維産業は構造的な不況に加え衣料関係の不調に振り回されているが、一部マスク関係で好調な事業所もある。機械金属関係では、コロナ禍での先行き不透明により不安要素が高い。

(坂井市商工会)

・金属製品製造・加工業は企業間格差が大きい。発注元が加工方法変更や下請けに出さず自社でまかなう体制を強化しているなど、受注の仕組みが変わりつつあり、影響を受けている企業は受注量が大幅に減少している。一方、自動車関連部品はやや盛り返してきているとのこと。

(佐久市望月商工会)

・食料品製造業のうち飲食店や観光施設等向け取引では、底を脱したように思えたが、新型コロナウイルスの感染拡大が収まらず帰省客等の自粛もあり再び売上は下降へと転じ、厳しい状況が続いている。また、水産関連は、依然として漁獲量が安定せず原材料の高騰と共にその確保に苦慮している。金属加工業については、ほぼ前年並みに回復してきている。

(みえ熊野古道商工会)

・食料品関連の製造業は、新型コロナウイルス「第3波」、Go Toトラベル事業の適用一時停止の影響が大きく、年末に向け観光客は減少。しばらく復調傾向にあった当地の観光土産の製造業者は、反転、売上減少に転じている。繊維工業関連の製造業は、大手ストックメーカーの下請企業は、生産調整により、休業を実施している。アパレル関連は、小口注文であるが、引き合いは増えている。機械金属関連の製造業は、新型コロナウイルス感染症の影響から徐々に回復し、前年並みに推移している。

(中部商工会産業支援センター)

・機械金属製造業について、部品需要は徐々に回復傾向ではあるが、元請けからの仕事が減少しており、先の見通しが立たない。

(土居町商工会)

・食料品製造の業者は、12月期においてはコロナの影響が大きくなり、人の動きも悪く、来店者も少なくなり売上高は減少している。繊維工業の製造業者は、近隣で廃業された企業の受注分が回ってきている。医療用防護服の製造については、引き続き好調で、2月頃までは受注が続く予定である。機械金属の製造業者は、自動車メーカーの部品製造業者からの発注が増えてきている。また、海外向けの切削工具メーカーからの下請け受注も増えてきている。

(柳川市商工会)

### 3. 建設業

#### <改善傾向を示すコメント>

・建設関連の事業者は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、資金繰りについては国が運転資金を借り易くしているため資金繰りが回って良好となっている。

(日野町商工会)

・西日本豪雨災害後の受注が切れず、好調である。

(吉田三間商工会)

・復興関係の需要増でやや景気上昇。

(川上商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

・資材不足による影響がまだ解消されていない状況。

(矢吹町商工会)

・年末大掃除等に向けたハウスクリーニング等短期間で行える工事等は堅調だが、総合建築業については引き続き低調である

(日野市商工会)

・新築関連は前年同期まではいかないものの回復し、リフォームや修繕業務も増加している。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で新築事業は更に遠くの不安がある。

(海津市商工会)

・公共事業による下支えに加え、新築・リフォーム工事も徐々に増えているが、消費税増税前の水準に戻るには時間が掛かると考えられる。

(菰野町商工会)

・当地の建設業界では人手不足が常態化している。公共工事を主とする事業者は、コロナ禍の影響が少ないが、人手不足等により工事が長期化し採算性が悪化している。民間住宅棟を手掛ける建設業者は、コロナ禍の影響を受け新規案件の獲得に苦戦しており、今後の経営に大きな不安を抱いている。

(真庭商工会)

・建築関連の事業者は、仕入れ資材の入荷が不安定で工期が遅れているため、依然として苦しい状況が続いている

(呉広域商工会)

#### 4. 小売業

##### <改善傾向を示すコメント>

・食料品関連の小売業は、年末のお歳暮等の需要がコロナの外出自粛の影響があり、例年よりも多くなっているため、売上が改善している。

(能登鹿北商工会)

・耐久消費財に至っては、空気清浄機の類の売上が急激に伸びている。

(上富田町商工会)

・巣ごもり、年末年始が重なり、需要は増加傾向。

(日高村商工会)

##### <悪化傾向を示すコメント>

・衣料品関連の事業者は新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少し資金繰りに影響がみられる。食料品及び耐久消費財関連の事業者は外出自粛などの影響で売上を維持している。

(新ひだか町商工会)

・耐久消費財小売業関連の事業者は、コロナウイルス感染症対策関連の商品(エアコン、空気清浄機、加湿器等)の販売が好調のため、売上が増加している。

(岩手町商工会)

・衣類関係は外出の自粛等の動きから落ち込みが続いている。

(玉造商工会)

・衣料品関連の小売業は、引き続き来客数が少なく売上が立たず、仕入先の東京へ行くこともできず、今後の春夏物の仕入れもままならない状況である。食料品関連の事業者は、コロナ禍による中食・外食需要の落ち込みにより、不況である。耐久消費財関連の事業者は、先般前代表者の死去に伴い事業承継をしたばかりだが、現在のコロナ禍の状況を考えると不安しかない。

(かづの商工会)

・耐久消費財は巣ごもり需要により一定の売上高を確保できているが、その他の小売業は新型コロナウイルス第3派の影響で一時期の好調さが薄れている。

(寺泊町商工会)

・衣料品小売業は外出控えによる影響で、全体的に売上は減少傾向にある。食品は、外出自粛による自宅での需要が堅調で増加傾向。特にクリスマス需要等洋菓子小売業を中心に全体的に堅調な売上となった。耐久消費財においてもネット通販等を中心に安定した需要で推移している。

(瀬田商工会)

・衣料品小売業者は、12月期においては中旬までは地域プレミアム商品券により売上高が確保できたが、年末の売上高は年々減少している。食料品小売業者は、年末年始の忘年会新年会が無くなり、酒の注文が激減し、売上高では50%以上減少している。食料品も 正月商品以外は商品が動かなかった。耐久消費財の小売業者は、冷蔵庫・洗濯機等が買替えの需要期であったため、売上高が増えてきている。

(柳川市商工会)

## 5. サービス業

### <改善傾向を示すコメント>

・全国的なコロナウイルス感染症拡大におけるGOTOトラベルの停止や移動自粛の影響により、旅館業においては、売上が非常に厳しくなっている。しかしながら、今後の事業を見定めて、県の補助金を活用しての「コロナウイルス感染症対策」を講じる旅館もあり、アフターコロナに向けて準備を進めている。

(外ヶ浜町商工会)

・理美容関連の業者は年末の最繁期なので売上げは好調

(鳩ヶ谷商工会)

### <悪化傾向を示すコメント>

・旅館業は市内新型コロナウイルス感染拡大、クラスター発生により年末年始の予約キャンセルが多発し厳しい状況である。冬季は観光客が元々少ないこともありGoToトラベル一時停止の影響は大きくないようである。

(みやぎ北上商工会)

・宿泊業は、GoToトラベルで予約が多く入っていた施設ほど、GoToトラベル一時停止を受けてほとんどの宿泊予約がキャンセルとなり大打撃を受けている。またGoToトラベルの恩恵をあまり受けていない宿泊施設においても、いつもの常連客がコロナ感染を恐れてキャンセルとなり売上は大きく減少している。洗濯業は、主な顧客である宿泊施設の客の入込が激減しているため、その影響で売上が大きく減少している。理美容業は、旅行や冠婚葬祭などの機会が減っていることにより、利用間隔が延びたり格安店で済ませたりする人が増えているため、前月同様に売上減少が続いている。

(妙高高原商工会)

・宿泊関連のサービス業は、一時期 Go To キャンペーンの効果で回復傾向にあったが、その後の感染拡大で予約も軒並みキャンセルとなり、売上は激減している。

(南木曾商工会)

・GO TO トラベルで、前年対比の売上を上回ったり、前年対比の7割位まで確保していたが、12月28~1月11日までのGO TOトラベル停止でお客様のキャンセルが相次いだ。年末年始の予約状況は、非常に厳しい。GO TO EATも、12月28日から、1月11日まで自粛なので年末年始で一年で一番の書き入れ時の大幅な売上減少が考えられる。

(湖西市商工会)

・ホテル関連の事業者は、忘年会・新年会の予約がすべてキャンセルになった。また、Gotoトラベルの反動もあり、先行きは非常に厳しい。

(太子町商工会)

・GOTO停止、地方行政発行の商品券の期限、コロナのクラスター発生の影響で、忘年会、新年会が中止となった影響が大きく響いた。

(作州津山商工会)

・旅館・宿泊業は、goto停止の影響でキャンセルが相次ぎ苦しい運営となっている。高知県下の感染者増により、全体的に外出を控える動きが出ていたが、全く動かなくなったわけではなく、理美容業など店舗によっては例年通りの運営を行っている所もあった。接客が多くなるサービス業全般で見れば、今後ますますの感染予防対策の徹底、サービスの変化・拡充が求められていくと推察される。

(四万十町商工会)

・宿泊業においては12月前半までは「GoToトラベル」キャンペーンの恩恵を受け稼働率・売上共に好調だったが、キャンペーン中止が発表された後半以降は予約キャンセルが続出した。年明け以降の見通しも不透明であり、今後もキャンセルが続くようであればリネンクリーニング業者・食品卸業者といった関連業者にも影響が波及するものと思われる。

(対馬市商工会)